

新型インフルエンザとは？

毎年、冬には季節性インフルエンザがはやりますが、これは新型インフルエンザとどのような関係にあるのでしょうか。また、鳥インフルエンザというものもありますが、こちらと新型インフルエンザとの関係はどうなっているのでしょうか？

【 季節性インフルエンザ 】

◎日本では毎年冬に流行するインフルエンザ

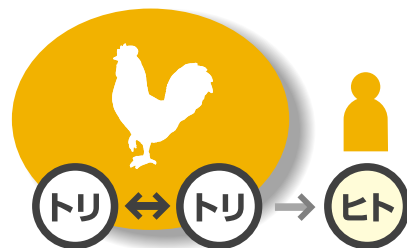
通常の季節性インフルエンザは、北半球では毎年冬季に流行しますが、新型インフルエンザは10年から40年に一度くらい（20世紀には3回）起こり、季節も冬とは限りません。



【 高病原性鳥インフルエンザ 】

◎鳥のあいだで流行しているインフルエンザ

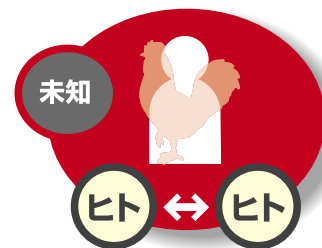
鳥インフルエンザの中には、アヒルやカモなど多くの水鳥では感染しても症状が出ず、ニワトリや七面鳥などに感染すると、強い毒性を示し、死を招くものがあります。これが高病原性鳥インフルエンザとよばれ、まれに人へも感染します。



【 新型インフルエンザ 】

◎まだ発生していない未知のウイルスによるインフルエンザ

鳥インフルエンザウイルスは他の動物にも感染することがあり、その動物の間で感染が簡単に起こりやすくなるように性質を変えることがあります。鳥から人への感染などの過程でこのような変化が起こると、人から人へと次々に感染する新しいインフルエンザウイルスが登場します。



Pandemic Influenza

新型インフルエンザの大流行とは？

ほとんどの人が抵抗力（免疫）をもたず、感染する力の強い新型ウイルスの出現が心配されています。実際に出現すると、世界中で爆発的な感染（パンデミック）を引き起こし、わたしたちの健康だけでなく、経済的な活動をはじめとする社会の機能にも大きな被害を与えるかもしれません。

【 被害想定はむずかしい 】

新型インフルエンザウイルスはまだ発生していません。そのため、感染しやすさや症状の程度はまだわかりません。ただし、過去の例を参考にして想定をすることはできます。

※過去の大流行（スペインインフルエンザ等）を参考にした想定

国民の
4人に1人が感染

最大**64万人**が死亡
（平成19年の日本の死亡者数は約111万人）

【 社会への影響は？ 】

バスや電車を動かす人、電気や水道、ガスなどを供給してくれる人、商店の店員やさまざまな会社で働く人などが、新型インフルエンザにかかって仕事ができなくなると、わたしたちの日常生活はまひするおそれがあります。そのため、国、自治体、事業者、家庭や個人などが、それぞれの立場で準備しておくことが大切です。





行政が準備している対策

被害を減らすにはバランスのよい対策実行が必要

新型インフルエンザの被害をおさえるために、これひとつだけで大丈夫という解決策は残念ながら、ありません。いくつかの対策を組み合わせる必要があります。

〔医療の充実〕

薬

効果は発症をおさえたり
症状悪化をおさえること

からだの中でウイルスが増え、症状が出たり悪化したりするのを
おさえる薬があります。これを抗インフルエンザウイルス薬とい
い、国はタミフルとリレンザの2種類を備蓄しています。

パンデミック ワクチン

効果は期待できるけれど
いまは製造できないワクチン

新型インフルエンザウイルスをもとにつくったワクチンをパン
デミックワクチンといい、高い効き目が期待されています。ただ
し、このワクチンは新型インフルエンザが発生してからでなけれ
ばウイルスが手に入らないこと、ワクチンをつくるために一定の
時間がかかることなどから、すぐに使うことはできません。

プレパンデミック ワクチン

パンデミックワクチンと比べて
効果が確実とはいえないワクチン

パンデミックワクチンが間に合わない期間、鳥インフルエンザ
ウイルスをもとにつくられるものがプレパンデミックワクチン
です。このワクチンは新型インフルエンザに対してある程度まで
は効くと期待されています。国はこのワクチンを現在、製造・備蓄
しています。

病院と診療所

安心して治療できる
環境づくりを

新型インフルエンザの発生後は、病院で感染が広まることを避け
るため、熱の出た患者さん専用の外来をつくるなど、特別な体制
をとることになります。

〔社会全体での取り組み〕

空港・港で

感染している人の入国を
できるだけ見逃さない

海外で新型インフルエンザが発生した場合、感染した人やその
可能性のある人が国内へ簡単に入らないよう、国は検疫という
チェックを強化します。

学校で

学校は
感染が広まる場所

学校はウイルスが人から人へ感染しやすい場所です。休校する
ことで感染が広がる速度が落ちたり、感染する人の数が減ったり
するといわれます。

職場で

感染をひろげない
仕事のやり方を検討

仕事全体の量を減らし、在宅勤務や交代勤務、あるいは時差通勤
や出張・会議の中止などによって感染が広まらないような工夫を
できるだけ行うことになります。

集会の延期や 中止の呼びかけ

感染の拡大は人と人とが
近づくことから

多くの人が集まれば集まるほど、人から人への感染はますます広
まっていきます。ですから、人の集まる機会をできるだけ減らす
ことが重要になります。

外出を減らすこと の呼びかけ

かからないためにも
うつさないためにも

外出は人と近づく機会を増やします。どうしても必要なとき以外
は、できるだけひかえることがすすめられます。



一人ひとりにしてほしいこと

自分の健康も家族の健康もひとりだけでは守れない

新型インフルエンザは人から人へとうつっていきます。
ですから、自分ひとりだけで健康を守ることは難しく、
家族や友人、職場の仲間たちといっしょに、協力して守る必要があります。

〔今からできる準備〕

◎食料・日用品を蓄える

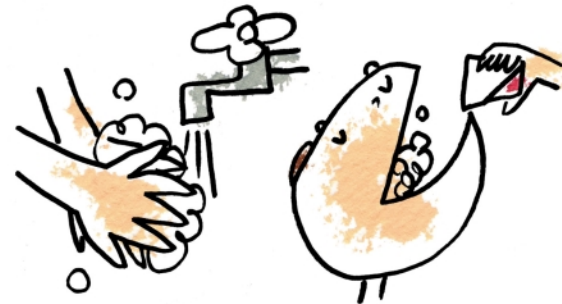
最低2週間は買い物なしで生活できるように

新型インフルエンザが流行している時期は、できるだけ自宅にと
どまることがすすめられますが、そのためには保存できる食べも
のや毎日使うものの備蓄をしておきましょう。

◎正しい衛生習慣を身につける

習慣にすれば簡単にできること

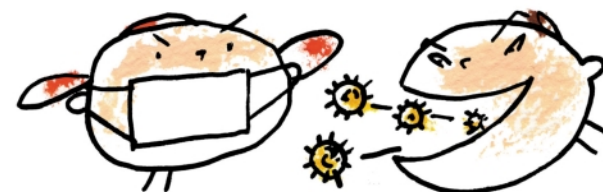
毎年冬にはやるインフルエンザには、かからないための予防法が
あります。これが新型インフルエンザの予防にも、それなりに
役立つと考えられます。具体的には、体の調子を整えておくこと、
外出から帰ったらうがいと手洗いを行うことです。



◎マスクの着用

人にうつさないためにマスクの着用を

マスクはウイルスが体のなかに入ってくるのを、ある程度は防ぎ
ますが、そのいちばんの働きは、感染してしまった人が着用する
ことで、ほかの人への感染を防ぐことです。熱やせき、くしゃみと
いった症状があるときは、マスクをしてください。



◎せきエチケット

せきやくしゃみは見えない唾液を飛ばしている！

マスクをしていないときに、咳やくしゃみをする時は、ティッシュ
などで口と鼻をおおい、顔を他の人には向けずに、できれば
1メートル以上離れましょう。鼻汁・痰などを含んだティッシュは
すぐにフタ付きのゴミ箱に捨ててください。



◎助け合いの輪をつくっておく

流行期に一人きりで困る人を助けられる
ように考えておきたい

新型インフルエンザが流行すると、一人暮らしのお年寄りなどは、
まわりの人たちが助けてあげる必要があります。そのための連
絡法などは、今から確認しておきましょう。

◎鳥インフルエンザへの注意

弱ったり死んでいる野鳥には絶対にさわらない！

鳥インフルエンザの人へ感染は、まれに起きています。これは、
鳥インフルエンザで死んだ鳥や鳥インフルエンザにかかっている
鳥に直接触れたり、あるいは毛をむしる、調理をするといった
接触のあった場合に限られています。死んだり弱ったりしている
野鳥や鳥には、直接触れることのないようにしてください。